

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 7
開講期間 / Class period	2016/09/29 ~ 2017/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160567007050	科目番号 / Subject code	05670070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間と環境(公害環境問題と社会) / Human and Environment		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
科目分類 / Class type	人間科学科目, 人間科学科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Object Student	経済学部夜間主 1 - 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部4階 環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜16-17時 在室のときならいつでも可		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	安全で安心できる環境を享受するため、公害・環境問題の歴史と現状、またそれらを考察する理論を学ぶ。全学モジュール科目「安全で安心できる社会」の選択科目		
授業到達目標/Goal	代表的な公害・環境問題の概要を説明し、企業、行政、専門家、被害者と一般市民の役割、対立点、キーワードなどを説明できるようになることを目指す。		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的に映像をまじえた講義方式で行うが、口頭や毎回の質問感想用紙による質疑応答を取り入れて理解度を探りながらすすめる。必要に応じてプリントを配布し、OHPなどを利用して理解を助ける。		
授業内容/Class outline/Con	<p>具体的な事例を通じて、公害・環境問題への多面的・学際的なアプローチを学ぶ。15回目はまとめ、16回目は定期試験。予定を変更したり、順番を入れ替えたりすることがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 水俣病 なぜ半世紀も混乱が続くのか 3 水俣病その2 4 カネミ油症 40年かかってわずかな前進 5 女子割礼問題 6 リニア中央新幹線のメリットとデメリット 7 福島原発事故と甲状腺がん 8 放射線ひばく労働 9 10万年の安全確保を要する高レベル放射性廃棄物 10 農業問題 とくにネオニコチノイド系 11 遺伝子組み換え作物 12 石木ダム計画をめぐる紛争 13 ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊 14 自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ 15 まとめ 16 定期試験 		
キーワード/Key word	水俣病、カネミ油症、原発、リスク社会、受益圏と受苦圏、住民運動と市民運動		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年。参考書は適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験70%、レポート30%		
受講要件(履修条件) / Requirements	授業外でも環境問題に関心を持ち、新聞を読むこと(週平均2時間程度)。		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなる社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 電話095-819-2006 FAX095-819-2948 電子メール support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)	http://todakiyosi.web.fc2.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	教科書を通読すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

1	10月3日	イントロダクション
2	10月17日	水俣病 公害の原点 なぜ半世紀も混乱が続くのか
3	10月24日	水俣病その2
4	10月31日	カネミ油症 40年かかってわずかな前進
5	11月7日	女子割礼問題
6	11月14日	リニア中央新幹線のメリットとデメリット
7	11月21日	福島原発事故と甲状腺がん
8	11月28日	放射線被ばく労働
9	12月5日	10万年の安全確保を要する高レベル放射性廃棄物
10	12月12日	農業問題 とくにネオニコチノイド系
11	12月19日	遺伝子組み換え作物
12	12月26日	石木ダム計画をめぐる紛争
13	1月16日	ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊
14	1月23日	自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ
15	1月30日	まとめ
16	2月6日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160567007051	科目番号 / Subject code	05670070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人間と環境(安全と安心の街づくり) / Human and Environment		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
科目分類 / Class type	人間科学科目, 人間科学科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	安全安心というキーワードを通して、真に豊かな生活を考える		
授業到達目標 / Goal	真に民主政治を担うことが出来る、自立した個人を育成する		
授業方法(学習指導法) / Method	課題に関する資料の読み込み、ディスカッション、共通理解		
授業内容 / Class outline / Con	安全安心の街とは何かをあらゆる方面から考え、その中での個人の役割を認識する		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	植木とみ子著「市役所の女」海鳥社、プリント、行政資料		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	課題30%、授業参加度30%、試験40%		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	防災 あなたにとって安全安心の街とは		
第2回	防災 具体的な行動		
第3回	防犯 無力な存在はどう護られるか		
第4回	防犯 あなたは安全な環境にいるか		
第5回	防犯 あなた自身の心は安全か		
第6回	安全安心の街とは 長崎は住みやすいか		
第7回	環境・街づくり 長崎の道路事情		
第8回	環境・街づくり ユニバーサルデザインの街		
第9回	環境・街づくり 水資源をどう護るか		
第10回	環境・街づくり ごみ減量の取組み		
第11回	子育て・教育 母親の孤立を防ぐ		
第12回	高齢者・障害者 弱者支援とは		
第13回	地域での共生を考える		
第14回	生活の中での安全安心 食品問題と消費者問題		

第15回	安全安心の街はどう造られるか
第16回	

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 7
開講期間 / Class period	2016/09/29 ~ 2017/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160568009050	科目番号 / Subject code	05680090
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	地球と宇宙の科学(水環境の安全と安心) / Earth and Space Sciences		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 多田 彰秀 / Tada Akihide		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田邊 秀二 / Tanabe Shuji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 多田 彰秀 / Tada Akihide		
科目分類 / Class type	自然科学科目, 自然科学科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Object Student	経済(夜間主)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-tanabe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	工学研究科(総合教育研究棟7F709)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2659		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00-12:50(事前にメールで連絡すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本は地球の温帯地域にあり、四季を通じて降雨があるため水には恵まれてきた。しかし、途上国においては、安全な飲料水の確保は喫緊の問題であり、日本に限らず、先進国の水処理技術の導入が急がれている。この講義では、工学研究科の水環境技術者育成に関わる教員により、水環境に関する技術の現状、問題点を整理し、日本の持つ先進的なモニタリング技術、アセスメント、膜や生物処理を使った最先端水処理技術などを理解することで、普段気づかない水環境の安全・安心について考える。		
授業到達目標/Goal	水環境に関する問題について解説できる。水環境のモニタリング技術、廃棄物問題、水処理技術について説明できる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義を基本とする。必要に応じてアクティブラーニング手法を取り入れる。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	水、膜、廃棄物、水環境、分離、生物処理、シミュレーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。必要があればプリントを配付し、参考書を紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義への積極的参加(40%)、レポート課題の評価(60%)の総合点で評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション: 有明海や水俣湾における水環境の現状		
第2回	水環境モニタリング技術について		
第3回	水道と水源池		
第4回	水源を守る		
第5回	日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(1)		
第6回	日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(2)		
第7回	化学薬品、重金属などの危険物質の現状と対策について		
第8回	世界の水環境問題と膜分離技術の貢献について		
第9回	<水を造る>膜分離技術概論 - 現状と展望 -		
第10回	<水を再生する>膜分離技術概論 現状と展望 -		
第11回	水環境生態系の保全と修復		

第12回	環境シミュレーションの方法と数値計算の原理
第13回	コンピュータによる数値計算の手続き
第14回	環境問題へのシミュレーションの応用例
第15回	水環境の安全・安心に関する総括と評価試験
第16回	評価結果に対する指導